

平成 2 3 年度  
産業経済局予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 3 年度産業経済局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 3 事務事業の見直し等（主なもの）・・・・・・・・・・・・・・ 1 3

# 1 平成23年度産業経済局予算要求総括表

## 【一般会計】

平成23年度要求総額 88,087,479千円  
 (平成22年度予算額 86,831,895千円)  
 前年度比 + 1.4%

## 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増減 A - B
新規北九州市産業雇用戦略見直し事業	8,250	0	8,250
学術研究拠点推進事業	359,770	370,136	10,366
中小企業融資 (内 景気対応資金)	65,500,000 (48,420,000)	65,500,000 (38,220,000)	0 (10,200,000)
新規環境に優しい次世代自動車勉強会	8,000	0	8,000
新規新興国市場開拓支援事業	7,500	0	7,500
新規地域産業人材育成事業	9,500	0	9,500
新産業創出研究開発強化事業	100,147	0	100,147
重点産業振興事業	77,751	0	77,751
新規生活支援関連サービス産業振興事業	16,951	0	16,951
国際物流特区企業集積特別助成金	2,785,000	3,450,000	665,000
新規オフィス立地促進補助金	18,300	0	18,300
新規観光客誘致のためのニューツーリズム創生事業	8,376	0	8,376
新規産業観光推進事業	13,363	0	13,363

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増減 A - B
新規門司港レトロ地区 外国人観光客おもてなし	7,304	0	7,304
新規大正100年記念 事業	11,724	0	11,724
フィッシャリーナ整備 事業	391,000	341,000	50,000
新規地元産食材 ブランド力強化事業	10,815	0	10,815

### 【中央卸売市場特別会計】

平成23年度要求総額 1,052,707千円  
(平成22年度予算額 756,800千円)  
前年度比 + 39.1%

### 《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増減 A - B
新規バイオマス資源の利 活用による地域資源循環 システム可能性調査	6,000	0	6,000
市場施設大規模緊急改良	312,942	80,300	232,642

### 【渡船特別会計】

平成23年度要求総額 359,784千円  
(平成22年度予算額 356,200千円)  
前年度比 + 1.0%

【国民宿舎特別会計】

平成23年度要求総額 13,943千円  
 (平成22年度予算額 11,000千円)  
 前年度比 + 26.8%

【競輪、競艇特別会計】

平成23年度要求総額 99,448,000千円  
 (平成22年度予算額 90,245,000千円)  
 前年度比 + 10.2%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増減 A - B
競輪事業	28,491,366	26,075,769	2,415,597
競艇事業	70,956,634	64,169,231	6,787,403

【産業用地整備特別会計】

平成23年度要求総額 2,038,769千円  
 (平成22年度予算額 1,980,000千円)  
 前年度比 + 3.0%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成23年度 予算要求額 A	平成22年度 予算額 B	増減 A - B
北九州空港跡地産業団地 整備事業	304,710	600,000	295,290
北九州臨空産業団地 整備事業	35,884	213,974	178,090

【漁業集落排水特別会計】

平成23年度要求総額	32,132千円
(平成22年度予算額	25,800千円)
前年度比	+ 24.5%

### **アジアの技術首都として成長できる都市を目指して**

平成 20 年秋の世界同時不況以降、海外への輸出を中心に回復基調にある本市経済は、円高や経済のグローバル化の進展にともない、ものづくり産業の海外移転など新たな課題に直面している。

こうした中、平成 23 年度は、産業雇用戦略に基づく各種事業の行政評価を踏まえ、事業内容の見直しを図り、局内一体となって事業を推進していく。

加えて、急激な経済環境の変化に対応するため、緊急経済・雇用対策を引き続き実施することで、本市経済の安定化を図り成長へと繋げていく。

#### **(1) 付加価値の高い製品・サービスを創り出すものづくり産業を振興する**

- ・ 北九州学術研究都市など産業を支える知的基盤の充実を図るとともに、「環境・エネルギー」など成長産業の育成を図る。
- ・ 戦略的な企業誘致により、「自動車」、「環境・エネルギー」、「情報通信」など成長産業の集積を図る。
- ・ 技術の高度化・新技術の開発や販路拡大、国際ビジネスの展開などを支援することで、地域企業の競争力強化を図る。

#### **(2) 豊かな生活とにぎわいを生み出す商業・サービス産業を振興する**

- ・ 小倉・黒崎地区の中心市街地の活性化を進めるとともに、地域の個性を生かした商店街の活性化を図る。
- ・ 健康や子育て支援など市民の豊かな暮らしを支え、生活者の多様化・個性化に対応する生活関連産業の育成を図る。
- ・ 門司港レトロのブランド力強化や集客力の有るコンベンションの誘致などを進め、宿泊施設、飲食、広告など地域の多様な業種が関連する集客産業の振興を図る。

#### **(3) 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援を推進する**

- ・ 若者ワークプラザ北九州や高齢者就業支援センターなどを通じ、仕事を求める市民に対して、きめ細かな就業支援に取り組むことで、雇用のミスマッチ解消を図る。
- ・ 企業ニーズに対応した人材育成や地場企業の人材確保への支援を行い、若者が地元で就職できる環境づくりを進める。

## 2 重点的に取組みを行う主なもの

【 】は産業雇用戦略における位置づけを示す（P14を参照）。 （単位：千円）

### まちづくりの基本方針（3）産業づくり

**新規**北九州市産業雇用戦略見直し事業 8,250

平成20年4月に策定した「北九州市産業雇用戦略」を急激に変化する経済情勢に適合すべく見直しを行うもの。

## 人を育てる ～子育て・教育日本一と創造性あふれる人材の輩出

### 2 アジアをリードする頭脳拠点の形成

#### (1) 国際水準の知的基盤の強化

学術研究拠点推進事業【戦略 - 1 - 】 359,770

北九州学術研究都市の拠点機能を高めるため、（財）北九州産業学術推進機構が行う大学間連携事業のほか、産学連携、半導体技術拠点形成、技術移転及び中小企業支援事業等の実施に対する支援を行うことにより、地域における産業技術の高度化と新産業の創出を図る。

#### (3) 技術・技能の継承

北九州産業技術保存継承センター管理運営事業【戦略 - 1 - 】 239,578

青少年から技術者までを対象とした各種講座やイベントの開催、地域企業と連携した企画展の開催、映像・図書の公開などの事業を通して、未来につながる新たなイノベーションを生み出せる人材の育成に取り組む。

## いきいきと働く ～競争力のある産業振興と豊かな雇用創出

### 1 高付加価値産業の創出

#### (1) 知的基盤の充実と成長産業の育成

新産業創出研究開発強化事業【戦略 - 1 - 】 100,147

学術研究都市を中心とした知的基盤が生み出す研究成果等と、本市に集積しているものづくり企業の高い技術を活用し、専門人材の育成や産学連携による研究開発の促進に取り組む。

先端パワーデバイス拠点化推進事業【戦略 - 1 - 】 28,400

低炭素社会の実現に向けて、電力の有効利用をはじめ、自動車や電車、家電製品等の省エネルギー化に貢献する基盤技術として期待されているパワーデバイスについて、研究開発を促進するとともに国内外のネットワークづくりに取り組む。

**新規生活支援関連サービス産業振興事業【戦略 - 2 - 】** 16,951

健康長寿を支える「健康生活支援サービス」と、働く子育て世代を支援する「育児支援サービス」を『生活支援関連サービス』として総合的に振興することを通じて、市民の「生活の質の向上」を支えるサービス産業群の創出を図る。

**ベンチャー総合支援事業【戦略 - 1 - 】** 31,630

地域経済の活性化及び新規雇用の創出に寄与する有望なベンチャー企業の創出・育成を図るため、インキュベーション・マネジャー等による創業期のきめ細かな経営支援を実施するとともに、官民によるベンチャー企業の支援ネットワーク「北九州ベンチャーイノベーションクラブ(略称：KVIC)」を管理・運営し、交流促進やビジネス推進に向けた各種協働事業を展開する。

**「知恵と工夫で雇用創出！」支援事業【戦略 - 2】** 37,000

厳しい経済・雇用情勢が続く中、安定した雇用創出と一層の産業振興を図るため、市内の中小企業等民間事業者が、新規事業や新たなビジネスアイデアによる事業拡充を行うにあたり、市内の求職者を新たに正規雇用する場合に、雇用人数に応じた補助金を交付するもの。

## (2) 戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積

**新規オフィス立地促進補助金【戦略 - 2】** 18,300

中心市街地の活性化や事務職の雇用創出の観点から、市内オフィスビルへの事業所誘致を促進するために、対象企業に対し補助金を交付する。

**国際物流特区企業集積特別助成金【戦略 - 2】** 2,785,000

国際物流特区の認定を契機に創設したインセンティブにより、本市のさらなる企業立地の促進と雇用の創出・拡大を図る。

**企業立地促進資金融資【戦略 - 2】** 4,384,000

低利な融資制度により、企業立地を促進し、本市経済の振興及び雇用の創出・拡大を図る。

**環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金【戦略 - 2】** 427,500

低炭素社会の実現に不可欠な、温室効果ガスの削減に貢献する技術開発、または製品製造に取り組む企業(環境技術革新企業)の本市への集積を促すために、対象企業に対し助成金を交付する。

## (3) ものづくりを支える地域企業の競争力強化

**新規中堅企業交流事業【戦略 - 3】** 1,000

市と中堅企業の意思疎通の緊密化および企業間の交流促進を目的に、「(仮称)中堅企業会」を創設する。産業施策ニーズや経営課題等に関する勉強会や情報交換などを行い、「北九州産業雇用戦略」の見直し作業や本市施策の立案の参考とする。

**新規環境にやさしい次世代自動車勉強会【戦略 - 3 -】** 8,000

次世代自動車の技術動向や電気自動車を使った研修を実施し、地元企業の次世代自動車ビジネスへの新規参入・取引拡大に向けた機会創出を図る。

中小企業融資【戦略 - 3 - 】 65,500,000  
(内 景気対応資金) (48,420,000)

中小企業の経営基盤の安定・強化に必要となる資金を融資する。特に、景気対応資金等による資金繰り対策や環境・エネルギー分野に対する融資については、十分な貸付枠を確保するなど、重点的な支援を行う。

建設業総合対策事業【戦略 - 3 - 】 25,745

厳しい経営環境にある建設業の経営革新や新分野進出等の取り組みを総合的に支援する。

ビズマッチ推進事業【戦略 - 3 - 】 17,335

関東・東海・関西の大都市圏で開催される大規模展示商談会に「北九州市ものづくり中小企業ブース」を出展し、技術開発や技術連携、受注拡大に向けた地元企業とのビジネスマッチングを行う。

がんばる！中小企業 元気発進応援プロジェクト【戦略 - 3 - 】 3,503

地域経済の将来を担う中小企業の後継者や若手経営者を育成するため、北九州市立大学ビジネススクール及び経済学部経営情報学科の受講料を補助することにより、高い次元の経営スキルを体系的に修得する機会を提供する。

## 2 商業・サービス産業・農林水産業の振興

### (1) 地域の個性を活かした商業の振興

黒崎地区中心市街地賑わい再生事業【戦略 - 1 - 】 4,373

黒崎商店街の空き店舗を活用し、若手起業家の育成拠点となるチャレンジショップや休憩スペースなどの運営に必要な経費を助成し、黒崎地区中心市街地の賑わい再生を図る。

中心市街地商業活性化推進事業【戦略 - 1 - 】 35,600

平成20年7月9日付けで内閣総理大臣に認定された小倉地区及び黒崎地区の中心市街地活性化基本計画に位置付ける商業活性化事業を推進する。

中心市街地都市型ビジネス振興事業【戦略 - 1 】 5,640

オフィスビル等の空室の増加が進む小倉中心市街地において、遊休不動産を活用した都市型ビジネス振興施策を推進し、中心市街地と本市産業の活力向上を図る。

### (3) 農林水産業の振興

拡充農作物等鳥獣害防除対策事業【戦略 - 2 - 】 39,895  
(うち拡充分 36,230)

深刻化する有害鳥獣被害に対応するため、新たな総合的な相談窓口の設置、ワナ・銃器による捕獲、進入防止柵設置への助成、及び専門的知識を持った職員の育成等を実施する。

高野地区ほ場整備事業【戦略 - 2 - 】 13,950

農地、用排水路、農道等を一体的に整備し、零細で分散している農地を集団化するなど、ほ場整備を実施することにより効率な営農を図る。

農地防災古野下池整備事業【戦略 - 2 - 】 47,000

決壊の恐れのあるため池を改修し、水位調整機能等の回復と農地や集落の防災に努める。

**新規**放置竹林対策事業【戦略 - 2 - 】 2,024

隣接した森林・農地等への侵入など、環境への悪影響が問題となっている放置竹林について、竹材の売却益を活用した放置竹林の整備を実施する。

**拡充**里海づくり推進事業【戦略 - 2 - 】 123,675

(うち拡充分 105,955)

人と自然が共生し、豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民と海のふれあいがあるような沿岸海域を実現するため、「里海づくり」を推進する。藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行い、豊穰な海をつくり、市民へ新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給するとともに、漁業経営の安定化を図る。

**フィッシャリーナ整備事業【戦略 - 2 - 】 391,000**

若松区脇田地区にプレジャーボート等の係留施設を整備し、漁業活動とのトラブル防止を図るとともに、隣接するフィッシャーマンズワープなどと連携して、親水空間を楽しめる水際線づくりを進め、水産業と市民との交流ふれあいを促進し、漁村地域の活性化を図る。

**新規**地元産食材ブランド力強化事業【戦略 - 2 - 】 10,815

地元産ブランド食材等について、よりブランド力を向上させ、その消費、生産の振興を図るため、市内外においてイベント開催等によるPR事業や商談会等を実施する。

### 3 多様なニーズに対応した人材育成と就業支援の推進

#### (1) 多様な人材の育成と確保

**新規**地域産業人材育成事業【戦略 - 1 】 9,500

地元大学生の地元就職率向上や地域企業の技術力・経営力向上を図ることを目的に、北九州地域産業人材育成フォーラム（事務局（財）北九州活性化協議会）に参画し、地域コンソーシアム型の長期インターンシップ事業を実施する。

#### (2) 若者・女性・中高年齢者などの就業支援

**拡充**若年者就業促進事業【戦略 - 2 - 】 146,964

(うち拡充分 24,499)

「若者ワークプラザ北九州」を拠点とした就業相談、各種情報提供、職業紹介等を実施するほか、若年者を対象とした求人開拓を実施する。また、高校や大学等の新卒者を対象に就業意識の向上や就業機会の提供等の事業を実施し就職の促進を図る。

**拡充**求職者を対象としたスキルアップ事業【戦略 - 1 】 44,557

(うち拡充分 11,314)

資格取得対策講座や、地元企業の職場見学・就労体験を取り入れた就職支援事業を実施し、求職者の早期就職を促進する。また、新たに、女性や生活保護受給者のうち一旦労働市場から離れていた層を対象とした就労支援を実施する。

**新規**地元企業魅力発見事業【戦略 1】 28,548

優れた技術や商品を持った優良企業であるが、一般市民には馴染みが薄い地元企業について、市民等への知名度向上を図り、より多くの優秀な人材を地元企業が雇用できるようにPRや地元企業見学バスツアー等を実施する。

**U・Iターン促進事業【戦略 - 2 - 】 16,464**

市内企業による既存産業の高度化と新産業の創出、育成の実現のため、市内企業や生活環境に関する情報の提供や職業紹介等を通して、北九州市通勤圏外在住者のU・Iターン就職を支援する。

**再就職トータルサポート事業【戦略 - 2 - 】** 20,859

中高年齢層の求職者等の再就職活動を支援するため、カウンセリング・能力開発・民間ネットワークを活用した就業支援を総合的に行う。

## 4 にぎわいづくりの推進

### (1) 北九州ブランドの創造

**門司港レトロ・関門海峡ブランド化推進事業【戦略 - 3 - 】** 26,914

安定的で持続的な集客を図るため、下関市及び旅行代理店、交通事業者との連携によるPR・プロモーションを展開するとともに、魅力ある集客イベントの実施など関門海峡を中心とした「関門エリア」の全国ブランド化を推進する。

### (3) ビジターズ・インダストリーの振興

**緊急経済対策によるコンベンション開催助成金拡充事業【戦略 - 3 - 】**

68,000

地域経済の活性化等を図ることを目的に、経済効果の高いコンベンション（学会、大会等）の開催誘致を強化するため、主催者に対し開催経費の一部を助成する制度を拡充する。

**拡充九州新幹線全線開通に伴う観光客及び修学旅行誘致促進事業** 15,556

**【戦略 - 3 - 】（うち拡充分 5,322）**

平成23年春の九州新幹線全線開通にともない、ターゲットを絞った誘客施策を展開することで観光客の増加及び受け地整備の充実を図る。

また、北九州市に特化した観光素材である環境修学旅行についても、一層の内容充実を図り、さらなる誘致の促進を図る。

**新規観光客誘致のためのニューツーリズム創生事業【戦略 - 3 - 】** 8,376

北九州市ならではの体験プログラム（着地型観光）をはじめ、新たな観光素材を開発、育成し、本市への宿泊客の増を図る。

**新規産業観光推進事業【戦略 - 3 - 】** 13,363

北九州市ならではの強みである産業観光について、他都市へのプロモーションや他の観光素材との組み合わせによる魅力向上などにより、一層推進させ、本市への観光客の増、特に宿泊者の増を図る。

**新規門司港レトロ地区外国人観光客**

**おもてなし推進事業【戦略 - 3 - 】** 7,304

近年の外国人観光客の増加に伴い、受け入れ態勢の強化という視点から、案内通訳の充実に加えて、各商業店舗等において、店員が必要なコミュニケーションが取れるよう会話や接遇研修等を行う。

**新規大正100年記念事業【戦略 - 3 - 】** 11,724

西暦2011年は、大正元年から100年目に当たるため、大正ロマン薫る観光地として定着している門司港レトロにおいて記念事業などを展開し、更なる集客と地域の観光振興を図る。

**門司港レトロ観光列車推進事業【戦略 - 3 - 】** 28,839

門司港レトロ地区を訪れる観光客の回遊性向上、滞在時間の延長や新たな広域観光ルートの形成を目的とした門司港レトロ観光列車の運行を行うとともに、観光客が快適に過ごせる施設の整備を行う。

## 環境を未来に引き継ぐ

～市民・企業・行政が共につくる「世界の環境首都」

### 2 地域からの低炭素社会への取組み

#### (2) 低炭素化に貢献する産業クラスターの構築

先導的低炭素化技術拠点形成事業【戦略 - 1 - 】

112,097

平成23年1月に策定した『先導的低炭素化技術研究戦略指針』に基づき、低炭素化に資する9つの分野の研究開発に重点的に取り組む。

環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金（再掲）【戦略 - 2】

427,500

低炭素社会の実現に不可欠な、温室効果ガスの削減に貢献する技術開発、または製品製造に取り組む企業（環境モデル企業）の本市への集積を促すために対象企業に対し助成金を交付するもの。

#### (3) 低炭素社会づくりを通じた豊かな生活の創造

**新規** バイオマス資源の利活用による地域資源循環システム可能性調査

【戦略 - 2 - 】 6,000

バイオマスエネルギーの高度利用を図るため、「下水処理場における有機性廃棄物の混合消化技術」により、中央卸売市場から発生する食品残渣を資源として再利用するシステムの実現可能性及び持続可能性の調査を行う。

### アジアの中で成長する ～アジア諸都市との交流・協力と広域連携

#### 2 物流基盤を活かした国際ビジネスの振興

##### (1) アジアのゲートウェイ機能を活かした国際ビジネスの促進

国際競争力強化事業【戦略 - 3 - 】

23,636

ジェット口北九州や北九州貿易協会との連携を図りながら、地域企業のニーズを踏まえた国際ビジネスの機会を提供し、企業の最適地調達・販路開拓・委託生産・競争力ある商品開発など、企業の国際競争力の向上を図ることによって地域産業の活性化を促進する。

##### (2) 成長著しいアジアの企業・人材の集積促進

対内投資促進事業【戦略 - 3 - 】

10,550

「ものづくり」をはじめ、本市が培ってきた地域特性を海外にアピールし、地域産業の高度化に寄与する新しい技術やノウハウを有する国際競争力の高い外国企業を誘致する。

**新規** 新興国市場開拓支援事業【戦略 - 3 - 】

7,500

急激な世界経済の変動に対応するため、海外ビジネス拡大を目指す地域企業とベトナム・インドネシアなど、成長著しい新興国との新たなビジネス連携を支援することで、地域企業の国際競争力の強化を図る。

## 中央卸売市場の活性化

北九州市こども料理王選手権事業【戦略 - 2 - 】 2,000

市場で流通する新鮮な食材を用いて、調理する喜び、食事を作る人の苦勞、食卓を囲むことの大切さを学び、もって生鮮食料品の消費拡大を図るため、小学生による料理コンテストを開催する。

市場施設大規模緊急改良事業【戦略 - 2 - 】 312,942

開設以来36年を経過し、老朽化が著しい市場施設のうち、第9次中央卸売市場整備計画・工事5年次計画に基づき、施設整備を行う。

## 市民、企業、NPO等との協働した事業展開

ソーシャルビジネス振興事業【戦略 - 2 - 】 4,415

地域や社会における課題が多様化する中、それらの課題をビジネスの手法で事業性を確保しながら解決するソーシャルビジネスの振興を図る。

具体的には、新たな「中間支援機関」となるべき人材の育成を図るとともに、先行事例の紹介等を行って、ソーシャルビジネスの社会的認知度の向上を図る。

里海づくり推進事業(再掲)【戦略 - 2 - 】 123,675

(うち拡充分 105,955)

人と自然が共生し、豊かな水産資源と生物多様性を持ち、市民と海のふれあいがあるような沿岸海域を実現するため、「里海づくり」を推進する。藻場・干潟の再生、漁場整備、魚介類の放流などを行い、豊穡な海をつくり、市民へ新鮮で安全・安心な水産物を持続的に供給するとともに、漁業経営の安定化を図る。

### 3 事務事業の見直し等（主なもの）

#### (1) 行政評価による見直し

##### **海外連携プロジェクト助成事業**

海外大学との共同研究開発（長期）に対する補助金を見直すことにより経費の削減を図る。

##### **新たな成長産業分野への企業誘致推進**

これまで行ってきた「環境・エネルギー産業」に加え、次の成長産業として期待される「航空宇宙産業」及び今後内需拡大産業として期待される「製薬・バイオ・食品産業」をターゲットとして、それぞれの段階に応じた戦略的な誘致活動の展開を図る。